

奥多摩：雲取山

◆日程 2016年2月6日(土)～7日(日)

◆メンバー L：須田、雫

半年ほど前に雲取山には単独行でテン泊したが、冬に雲取に登るのは初めてだった。意外なことに雫さんも初冬雲取だとのこと。雲取山荘のホームページを見ると積雪量は約 20 cmあるので雪山を満喫できそうだ。

2月6日(土)

自宅を朝 4 時半に出て最寄駅まで歩き、駅近くの松屋で牛丼を食べる。コバヨシさんの影響か山行前に牛丼屋で腹ごしらえすることが最近多い。奥多摩駅に 8 時 21 分到着。やはり奥多摩は遠い。鴨沢方面行きバス停にはかなりの人数が既に並んでいて雫さんも前の方に並んでいた。臨時の増発便が出たが空席なしのためザックに腰掛ける。鴨沢で降り身支度を整えて歩き出すが、天



気も良く暖かい。小屋泊まりと日帰りが多いようで大きいザックを背負っているのはかなりの少数派だ。自分でも何でこんなにザックが大きいのか分からない。パッキングが下手なのとあまり軽量化を考えていないのと、たぶん両方なのだろう。

しばらく登ると雪山らしい景色になってきた。今回はストックだけでピッケルは持って行かなかった。アイゼンは持って行ったが結局 1 度も使わなかった。チェーンスパイクや軽アイゼンを使用している人が多かったが、歩行訓練にもなるし、スピードも上がるのでアイゼンは使わずじまいだった。

七ツ石小屋はオーナーが変わると貼り紙がしてあったが、小屋の営業は継続するようだ。ただ場所的にも小屋に泊まる人はほとんどいないだろうから、営業的に難しいのかな、と思われた。雲取山山頂への最後の急登を登ると立派な避難小屋がある。二重扉を開けて中に入ると既に 10 名ほどの登山者がくつろいでいる。中は綺麗でいかにも快適そうだ。側にしっかりしたトイレもある。空いていたら中にテントを張ろうかなどと考えていたが人がいっぱいなのであきらめた。避難小屋から 50m 位に雲取山山頂があり、記念写真を撮ってすぐに雲取山荘に向かう。そんなに下らなくても！と言いたくなるくらい下っていくと大きくて立派な山小屋が現れた。小屋のすぐ横にテントを張るが、他には 2 張りしか張っていない。その 1 つからはおばちゃんたちの賑やかな話し声が聞こえてくる。結構離れているのにこんなにはっきりと聞こえるということは、よっぽどデカイ声で話しているのだろう。

小屋にビールとジュースを買いに行き、テン場代を払う。明日の天気を確認すると、今晚は

降雪があるだろうが、明日は晴れるだろうとのこと。予想通り暗くなると雪が降り出した。鶏団子鍋をつつきながら、雫さんと9時頃まであれやこれやと話してから就寝した。

CT : 9:30 鴨沢～10:30 休～12:00 休～13:20 七ツ石山～15:20 雲取山
～16:00 雲取山荘

2月7日(日)

朝5時起床。昨晚は5～6cmは積もったようだ。帰りのバスの時間に合わせてゆっくりと7時過ぎに出発する。無風快晴で最高の天気だ。富士山もとっても綺麗に見えて何枚も写真を撮る。丹沢あたりから見える富士山とはまた違って奥多摩からの富士も美しい。厳冬期といえども奥多摩ならそんなに寒くもなく、手頃に雪山を楽しむことができるので、この時期の雲取はお薦めである。

順調に鴨沢まで下り、すこし先の留浦まで歩くと何故か留浦発のバスがある。鴨沢でバス待ちしている人たちが多くいたので留浦発のバスがあるという事を知らない人が多いようだ。奥多摩駅に着き、氷川サービスステーションという変わった名前の食堂に入る。手打ち蕎麦が売りのようなのでざる蕎麦を注文するが、他の客を見るとラーメンとか鍋焼きうどんなど食べている。失敗したかと思ったが蕎麦もなかなか美味かった。他にも刺身コンニャクや揚げ出し豆腐も美味く、当りの店だった。天候にも恵まれすべてにおいて良い山行だったと満足して帰浜した。

CT : 5:00 起床 7:20 発～9:00 七ツ石山分岐～10:20 休～11:30 鴨沢

(記 : 須田)